

リスクマネジメント委員会の取り組み

今年4月に、立ち上げたリスクマネジメント委員会では、毎月定期会を開き、いろいろな職種の職員の参加をもって話しを行っています。リスクマネジメントといつても多岐にわたり広範囲です。委員会では、まず、ご利用者に直面しているハイリスクの回避から取りかかろうと思っています。いろいろな場面で見られる、ヒヤリハット（ひやっとしたことや、はっとしたこと）を職員に記入してもらい、その統計をとり分析をし、改善策をさぐりながら実行する。うまくいかなければまた改善策をねりなおし、どこがうまくいかないのかを分析し、実行するといった繰り返しを重ね、少しでもご利用者が安心・安全に過ごせるよう取り組んでいきたいと思っています。以前は、ヒヤリハットの件数も少なく、それについて話合う場もありませんでした。事故についても原因のわからないことが多々ありました。「ご利用者の障害特性だから仕方ない」とか「意見をいったところで、所詮、個人の意見でしかない」とおざなりになっていく…。そんな風土をなんとしても変えたいという意思をもって委員会を設立しました。

改善の糸口が見つかったことで、職員の支援の見解も、感性も少しずつ変わってくるように思います。上からの指示ではなく、現場の自分達ができることからやっていくことをモットーに、ソフト面の見直しをしています。実行から得た成功は、ささいなことでもその積み重ねにより、自分たちの自信につながると思います。

和泉の里、設立27年目にし、ご利用者の高齢化、身体能力の低下を目の当たりにしています。安全に過ごしていただくために、知らず知らずのうちにご利用者の行動を制限してしまっていることもあります。そんな「自由か安全か」といった二者選択ではなく、「より質の高いサービスを提供することによって多くの事故が未然に回避できる」という考え方（クオリティインブルーフメント）でリスク回避に取り組むことを目指しています。

看護師 郡司掛光恵

清光会バザーのお知らせ

日時 平成27年11月3日（火） 10時～14時

場所 ゆかりの里1階

内容 模擬店（軽食、飲み物）

ゲームコーナー（スーパーボールすくい、ストラックアウト等）

生鮮市（新鮮野菜や果物、パン等）（時間は午前8時半の予定）

提供品の販売（日用品、本、食器等）

皆様のご来場を心よりお待ちしております



大阪府強度行動障がい支援リーダー養成研修

今年度も「大阪府強度行動障がい支援リーダー養成研修」が6回のシリーズで開催されています。今年度は各事業所より2名参加するようにとのことで、阪本将太支援員と一緒に参加させて頂いています。昨年に引き続き、畿央大学 大久保賢一准教授の講義と参加者によるグループワークを中心に研修を進めています。講義では主に応用行動分析学の基礎について教わっています。限られたスペースですが、以下に少し紹介します。

行動には意味があります。それは「周囲の人から注目してほしい」「この状況から逃げたい」「何かを得ようとしている」「特定の感覚を呼び覚まそうとしている」の4つに大別できます。また、行動は「〇〇したら□□になった。」という経験＝「行動の“後”にどのような経験が伴うか」によって「将来、その行動がどれだけ起こりやすくなるか」に影響します。「少しはかまってほしい」「こんなことやってられない」「もうちょっとおやつがほしい」等訴えている内容は当然の要求であっても、「殴ったり、蹴ったり、壊したり…」等訴え方が不適切なばかりに「問題」と捉えられてしまうことがあります。周囲が十分受け入れられる「望ましい」行動を増やすことが出来れば、行動を起こす本人も周囲の関係者も随分楽に暮らしていくことが出来ます。また、地下街の案内表示のおかげで迷わずに目的地に行けるように、すべての人

とって「あった方が助かる」仕掛けがあります。支援においてもすべてのご利用者に対してのユニークなアプローチ、特定のニーズのあるグループに特化したアプローチ、個別的なニーズを抱える個人に対するアプローチと階層化して考え、ユニークな仕掛けや特定ニーズのある集団に対するアプローチを充実させることで問題が解決されることも多いです。上記のような考え方を学ぶことで「問題の解決」から「問題の予防」へアプローチを変化できます。シリーズ前半3回を終え、今後は各事業所の実践例に対して大久保氏からスーパーバイズ頂きながら実践を進めて行くこととなっています。入所施設だけでなく通所の事業所やグループホームからの参加者も多数おられ、他事業所の様子などを伺うことで和泉の里の実践の到達点と課題も見えてくるように思われます。和泉の里でも具体的な方法論等に関しては時間を設けて伝達研修を計画しようと話し合っています。今回の研修を「テコ」にして伝達研修によって支援者集団の力量を一定水準で確保したうえで実践をすすめ、ご利用者にとってより暮らしやすい和泉の里にしていきたいと思います。

サービス管理責任者 谷口 道紀

